



～設置からアフターケアまで～

## 障害者施設でゴーヤのカーテンを販売します！！

区内にある障害者自立支援施設「あけぼの作業所」(上井草4-3-11)では、施設で働く障害者の方が、毎年、家庭・事業所を向けてのゴーヤのカーテンの設置・販売を行っています。今年は、すでに25件の依頼を受けており、忙しい設置作業で忙しい時期が始まりました。設置した苗は、1カ月後には、このネットを埋め尽くし、直射日光を遮り、省エネ効果のある「ゴーヤのカーテン」に育ちます。

区内にある障害者自立支援施設「あけぼの作業所」は、障害のために就職が困難な方に仕事を提供し、作業や活動を通じて自立できるよう支援をしています。施設では、障害者・職員合わせておよそ90名が働いており、「あけぼのタイカレー」や「あけぼのマルセイユ石鹸」の自主製品を製作して販売したり、竹を磨いて、調理へらやバターナイフを作る軽作業などを行っています。

そんなあけぼの作業所が、初夏に行っている事業が「ゴーヤのカーテン」の設置です。平成23年に発生した東日本大震災による節電意識が高まったことから、省エネに対する取り組みでできることはないかと考え、葉の表面から水蒸気が発散する蒸散作用により周囲の温度が低くなると言われるゴーヤのカーテン設置事業を始め、今年で4回目を迎えました。毎年、約40件程度の注文があり、一般家庭や事業所を訪問して設置してきました。

26日(月)、障害者グループホーム「ポルカ」(高井戸西1-10-14)からの注文により障害者2名と職員2名が出向き設置作業を行いました。障害者の方は、職員の手を借りながら、2時間ほどかけて、約縦200cm、横180cmのネットをベランダに設置し、プランターに2つに、ゴーヤの苗を3株ずつ丁寧に植えていきました。この苗は1カ月後に、ネットを埋め尽くすほどの「ゴーヤのカーテン」に成長します。設置後も、10月ごろまで3回程度訪問し、ゴーヤの育ち具合などを確認、肥料のまき方などをアドバイスし、10月以降に枯れたゴーヤの回収まで責任をもって行います。



設置を依頼したポルカの方は、「昨年設置してもらったが、部屋が涼しくなり、あきるほどゴーヤを食べることができたので今年も依頼しました。今年は、昨年より1つ多く苗を設置してもらったので成長が楽しみ」と話していました。あけぼの作業所では、現在も6月30日までゴーヤのカーテンを設置する家庭や施設を募集しています。

～ゴーヤのカーテンを設置します～

申し込み：6月30日(月)まで(申込順50名・杉並区限定)

(平成26年5月26日現在申し込み可)

費用：5,400円(プランター・ネットの設置、設置後3回程度のメンテナンス・枯れたゴーヤの回収)

連絡先：03-3395-1441(あけぼの作業所 文野・中村)

### 【問い合わせ先】

あけぼの作業所 電話：3395-1441

総務部広報課 電話：3312-2111